

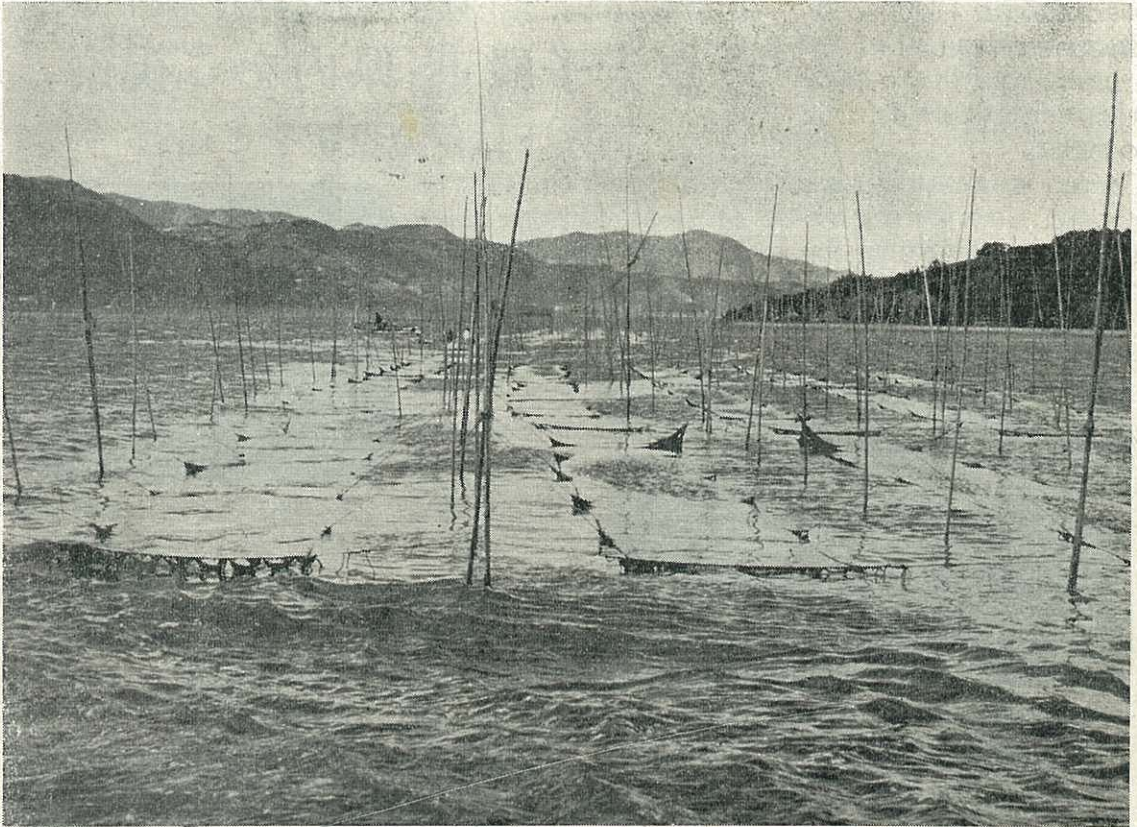
広報

いまり

市の人口	
11月1日現在	
総人口	63,160人
男	29,746人
女	33,414人
世帯数	15,101世帯

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

○毎月1日発行 定価1部5円 昭和44年12月1日 伊万里市役所秘書企画課発行 No. 188



—— のりつみ始まる ——

—— ことしの生産予想は500万枚 ——

(S44.11.25 伊万里湾で)

広報こよみ

1日～31日 年末助け合い運動
 4日～10日 人権週間
 7日 市内一周駅伝競争
 8日 定例市議会招集
 11日・25日 交通事故相談

14日 市連合青年団産業祭
 15日～28日 年賀郵便特別取扱受付
 19日 法律相談
 27日 執務納め

☆つごうによって変更することがあります。

☆あなたの町や部落で明るい話題がありましたら市役所秘書企画課広報統計係へお知らせください。

伊万里市は交通安全宣言都市です

手をあげて 渡るえがおに待つ車

12月

中央建設請負契約を可決 公民館

第4回臨時市議会

11月17日の第4回臨時市議会は、中央公民館建設費 4,030万円の工事請負契約を審議可決しました。

工事は、黒木組（松島町・黒木右馬社長）が請負い、来年3月に完成の予定です。

敷地は、市が文化センター用地として造成した伊万里小学校裏の9,873平方メートルのうちの2,837平方メートルです。

建物は、鉄筋2階建て・延べ860平方メートルの本館と付属施設です

本館は、1階に事務室・応接室・和室・料理室兼講座室、2階に大会議

室（250人収容）・小会議室（50人収容）・図書室・郷土資料室などを予定しています。

この敷地には、45年度に1億1,000万円で1,200人収容の市民会館を、46年度に4,000万円をかけて老人福祉センターを建設し、全館集中管理方式の冷暖房をつける計画です。

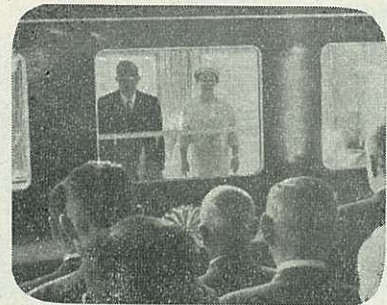
皇太子殿下・県内をご視察

両陛下は伊万里駅をご通過

天皇・皇后両陛下は、長崎県で開かれた秋の国民体育大会にご出席のあと、松浦線経由の特別列車でお帰りになりました。

10月31日あさ、平戸をお立ちになった両陛下は、沿線でお迎える保育園児・小中学生や一般市民に、伊万里駅では、特別奉迎者にえがおでおこたえになりました。

また、長崎県諫早市で開かれた全国身体障害者スポーツ大会にご出席の皇太子殿下は、11月10日から13日



▷伊万里駅でおこたえになる両陛下◁
まで県内の民生・産業など県勢の発展状況をご視察になりました。

市内は、11月11日、伊万里陶業株式会社でご昼食のあと、オートメ化された製造工程をご見学ののち、国道202号線をご通過、沿道の奉迎におこたえになりながら唐津市へ向かわれました。



▷沿道では日の丸の小旗をふって殿下を歓迎◁

伊万里良照さんに 法務大臣から感謝状

立花町の伊万里良照さん（50歳・格岩寺住職）は、20年以上も更正保護事業に努力された功績で、10月15日、法務大臣から感謝状を受けました。昭和34年に法務大臣感謝状・39年には、法務大臣表彰も受けています。伊万里さんは、いまでも伊万里区保護司会長として活躍中です。保護

司は、犯罪者の改善・更正を助け、犯罪の予防・地域社会の浄化など個人や公共の福祉に寄与するのが役目です。市内で60人の保護司が社会の浄化に努めています。

△伊万里陶業を
ご視察になる殿下△



自分をくじくものとしてそれに対抗し、くじけないように「りきん」でいる。「りきみ」には「我（が）」があり、「我」はやがて、力尽きて折れてしまう。

◆苦しい、悲しい、けれどもやっぱりそれは、いまでも自分にふさわしい自然のなりゆきであり、自然がわたくしを育ててくれる。考えてみれば、それは自分にとってありがたいこと以外にない。苦しいこと、悲しいことがありがたければ、うれしいことはなおありがたしい。そうならば、いっさいの現象がありがたいことになる。

◆昭和四十四年もまもなく過ぎ去ろうとしている。わたくしは、このような人生哲学が昭和四十四年を「しじゅうしあわせ」の年にしてくれたように思う。

◆人間のしあわせは、その人のものの見かた、考えかた、値うちの決めかたにある。値うちの決めかたからそれにふさわしいものが生じてくる。

来年こそは、すべてをさしにありがたくうけとめることのできる心を深めていきたい。

国保事務は市民課で 商工・選管など事務室も移転

12月1日から事務改善計画を実施するため、機構の一部を改めました。事務室も機械の導入や職員の増減で一部移動しました。

事務面からみた変更

○いままで保険衛生課の保険係が担当していた国民健康保険に関する事項を市民課の国保年金係へ移しました。保健婦は、従来どおり保健衛生課で仕事します。

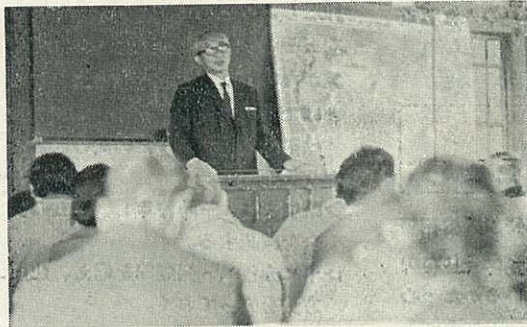
○日常の住民異動に伴う永久選挙人名簿の加除訂正は市民課で行ないます。

○こんど導入した電子統計宛名同時印刷機が整備できしだい、予防接種などの通知は、市民課が発送します

機構面からみた改正

(いままでの機構) (改正した機構)

課名	係名	係名	係名	課名
税務	庶務	庶務	庶務	税務
	調査	調査	調査	
	徴収	徴収	徴収	
市民	窓口	窓口	窓口	市民
	市民相談	市民相談	市民相談	
	年金	国保年金	国保年金	



▷視察報告をする山口市長・山代出張所で◁

「すなわち、おいらはくじけない」ということには、そのすなおさがなく、あくま

外にない。それと、おいらはくじけない」ということには、そのすなおさがなく、あくま

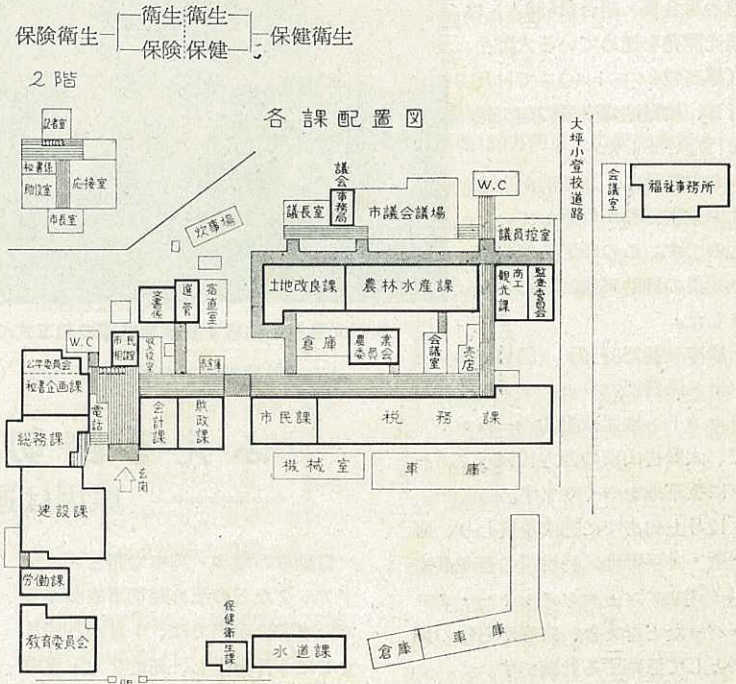
「すなわち、おいらはくじけない」ということには、そのすなおさがなく、あくま

「すなわち、おいらはくじけない」ということには、そのすなおさがなく、あくま



事務室の移動

- 商工観光課 → 議員控室
- 議員控室 → 選管事務局
- 選管事務局 → 計算室
- 計算室 → 機械室



南米視察を終え 山口市長帰任

全国拓殖農業協同組合から派遣されて南アメリカを視察した山口市長は、11月5日に帰任しました。

ブラジル・パラグアイ・アルゼンチンなどで移住者の生活実態・農業経営・産業組合の運営状況などを視

察調査してきました。また、各地で活躍している市内出身の移住者とも懇談、激励しました。

視察でえた成果は、こんごの市政に十分反映させることにしています

山口市長の話

長期間のるす中に、じんかい焼却場建設位置の解決などたいへん迷惑をかけました。南米視察でえた成果は、市政発展のために活用する考えです。部落の会合などでご希望があれば、出席、報告します。

大野岳に牧草地を造成

観光農業に一役

南波多農業協同組合（前田徳治組合長・組合員630人）は観光開発を進めている大野岳（標高424メートル）で11月21日、牧野造成事業の起式を行いました。

この事業は、3年前から地元原屋敷部落が計画していたものです。このほど小規模草地改良の補助事業に認められました。

総事業費259万円（国費45パーセント・県費25パーセント・市費10パーセント・地元負担20パーセント）で、大野岳山頂の西方10.4ヘクタールに牧草地をつくります。

12月上旬までに造成を終わり、原屋敷・井手野地区15世帯の畜産農家がイタリアン・ケンタッキー・クローバーなどをまき、来春から牛の飼料として採草する計画です。



▷観光農業をめざす牧草地造成の起式◁

また、牧草地までの取付道路1,300 ㍍にしたい。

メートル（幅6メートル）は地元負担60万円で、すでに完成しています。将来は、牧草地の下方にある山林を活用して、林間放牧場8ヘクタールをつくる計画もあります。

前田農協長の話

水田裏作飼料とともに草地を活用し、肥育牛の多頭化を進めたい。大野岳自然公園開発は、第2期工事として、展望台3か所をつくる計画だ。将来は、観光牧場としての役割をもたせ、取付道路も牧道兼観光道路として整備し、大型バスの乗り入れができるよ

ふえる踏切事故

原因は運転者の道徳心低下

自動車の増加・列車増発とスピードアップなどのため踏切事故がふえています。市内では、1月から10月までに4件発生し、死亡2人・重傷

3人の犠牲者をだしています。

国鉄は、踏切の立体交差・整理統合・警報機の新設などいろんな対策をたてています。それにもかかわらず事故が減少しないのは、交通法規の無視・無謀運転など自動車運転者の道徳心低下が原因のようです。

警報機が鳴っているのに、強引に通過しようとして、尊い人命を失うなどその例です。運転者の協力と自覚がなければ、踏切事故を減らすことはできません。

鉄道事故をなくすため次のことを守りましょう。

▷踏切では、一時停車し、左右の安全を確認する。

▷車に赤色旗・発煙筒を備え、使用方法を知っておく。

▷踏切の幅がせまく、通行が危険と思われるところは、まわり道をする。まわり道がなければ、仮拡幅の申請をすること。

▷ブルドーザーなどキャタピラ付の自動車を運行するとき、レールや踏切舗装にきずをつけないようにすること。

▷線路を歩かない。

▷線路で遊ばない。

人格を認め尊重しよう

12月4日～10日 人権週間

12月10日は、21年前に国際連合の総会で、世界人権宣言が採択され、世界に公布された記念の日です。

県内でも、「人権週間」（12月4日～10日）を設け、人権思想の高揚をはかっています。

過去20回の「人権週間」行事を通じて、県民の人権意識はしだいに高まってきました。人権侵犯の事例は公害・交通災害などの新しい問題が増加しています。いままでみられた事例も依然としてあとをたちません。

人権侵犯をなくすには、人はまず家庭にはじまり、友人関係・団体・会社などの地域社会のなかで生きていることを自覚することです。

おたがいに他人の人格を認め、尊重することがたいせつです。

明るい家庭・住みよい社会を築く

ため、みんなでおたがいの人権尊重を心がけましょう。

人権相談所開設

人権週間を記念して特設人権相談所を開設します。人権を侵されたかた・侵されようとしているかた・心配ごと・困りごとなど、どんなことでも相談に応じます。

▶日時 12月8日

午前10時～午後3時

▶場所 山代公民館

▶相談担当者

人権擁護委員 水上房代さん

〃 杉山恵吉さん

法務局職員

▶料金 無料

年間に1億3,000万円の取引



朝市実態調査まとまる

新天町の市道で開かれている朝市について、そのありかたと市の経済活動に占める位置を知るため、8月11日実態調査を行ないました。

その結果のあらましをお知らせします。

なつかしい「ふれ売り」 交通量がふえ市有地に定着

朝市は、農家の主婦が野菜やくだものなどを、テンピンかごでかついで売り歩く「ふれ売り」が発達したものです。交通量がふえ「ふれ売り」ができなくなったために、新天町の市有地に定着、いまの朝市になりました。

いまでは、農家から出荷される野菜やくだものだけでなく、露天商の鮮魚・菓子・衣料品まで販売されています。このため、家庭の台所をはじめ、市内外の小売商への供給センターとしての役割をもつようになりました。

年間販売額1億2,900万円 発展には抜本的な解決策を

朝市の年間の売り上げは、1億2,900万円と推定され、売買人にとっては、欠くことのできない存在になっているようです。

しかし、交通量や利用者がふえるにつれ、近くの住民からは、騒音・環境・食品衛生などについて批判もあります。特に火災などの事故が発生すれば、緊急自動車も通れないという問題があり、抜本的な解決がの

ぞまれています。

出店は農業者66% 販売額は露天商が57%

朝市は、毎月第1日曜日を除いて毎日午前5時から10時まで開かれています。出店の割合は、農業者66パーセント・露天商27パーセント・鮮魚商7パーセントです。農業者が多いのはなし・ぶどうの出荷時期であったためです。

年間の販売額は、露天商が7,300万円で全体の57パーセントを占め、農業者4,570万円・鮮魚商1,000万円と推定されます。

魅力は短時間で取り引きできる 安価で新鮮な商品が買える

昭和39年9月に行なった、第1回の調査時に比べ、朝市利用者は減少していません。

売り手は、短時間で取り引きができる・納得のいく値段で売れる・比較的に利益率がよいことと買い手は安価で新鮮な商品が手にはいるという魅力があるためと思われます。

しかし、商業として発展するためには、露天商の共同店舗化・食品衛生・交通問題を解決しなければなりません。

零細な露天商 1日売り上げ3,000～5,000円

露天商は、零細な業者がほとんどです。取り扱っている商品は、かまぼこ・鮮魚・乾物が多く、1日1

人当たり3,000円～5,000円・年間100万円～150万円を販売しているようです。

露天商は、共同店舗を作りたいと希望しています。しかし、土地と資金に問題があり、いまずく解決できないようです。

東部地区から多い農産物の出荷 年間150万円以上の販売農家も

農産物は、南波多・大川・松浦など東部地区から全体の55パーセントが出荷されています。なし・ぶどう・きゅうり・かぼちゃなどが多いほうです。

販売額は、1人1日平均1,000円～3,000円と1万円以上の農家が多く、年間の農産物販売総額は、4,600万円ていどです。

年間販売高は、5万円以下が38パーセントで最も多く、150万円以上も販売する農家もあります。

農家は、時間が短い・場所がせまく車の出入りが自由に行かないので、駅南か近郊に移転してほしいという希望ももっています。

瀬戸・波多津・黒川地区からは、鮮魚が出荷され、1人当たり1日に2,000円～4,000円・年間50万円～60万円を販売しています。

朝市存続の意見まちまち 現状での存続は無理

このように、朝市が伊万里経済に占める比重は非常に高いといえます。反面、秩序・衛生面では不十分のため賛成・反対意見ともまちまちな状況です。

店を出しているかたも、管理運営について次のような意見ももっています。

売り場は平等に・広い場所を・おたがいにゆずり合う気持で・車の乗り入れ禁止・運営費を平等になど多くの意見があり、商業形態として確立した朝市にしたいと願っています。いずれにしても、いまのまま存続することはできないようです。

犬の無登録

放し飼いはやめよう
犬の飼育がふえている。心から犬を愛し、飼育することは良いと思う。しかし犬を飼うには、エチケットがあり、規則がある。それが守られないと、一般市民は迷惑する。



柳井町 一主婦

飼育者だけでなく、全市民が犬に関心をもち、注意したいものだ。特に、登録していない犬 放し飼いはみんなで注意しよう。

柳井町 一市民

事務改善は市民サービス向上を主体に

市は、事務管理係を設け事務改善を進めているというのだが、最小の改善で最大の効果をあげるような方法をとってほしい。

さきごろ、納税証明と所得証明が必要になり、市役所に行ったが、どこでもらえるのかわからず困ったことがある。廊下に小さく、納税課と書いてあったのでお願いすると「市民課で受

市政モニター随時通信

◎と畜場の存廃問題は、その後どうなっているか。市内にと畜場があるか、ないかによって、事故・病気にかかった家畜が、精肉になるか、廃肉になるかのわかれ道になる。畜産振興のため、ぜひ存置してほしい

おこたえ 現在地の近くは、住宅用地として開発されています。また農協会館・県総合庁舎などの建設も予定され、環境衛生上好ましい位置とはいえません。

畜産振興のため、存置することは必要と思われませんが、市営・経済団体営とするかなど移転先をふくめて検討しています。

(保健衛生課)

◎辻の堂～山の寺間に遊歩道路ができるということだが、その前に、山の寺の史跡の保存方法を考えてほしい。

おこたえ 山の寺は、松浦源氏創成期の遺跡として歴史・学術上価値の高いものと思われま。

市郷土研究会は、ことし6月、山の寺の实地調査をしました。その結果、さらに遺跡が発見されています

こんご、発掘・原型確認などの調査が必要になります。

現地保存方法は、なるべく早く具体化したい考えです。

(教委社会教育課)

優秀団体に松浦町 子ども話し方大会

子ども話し方大会が11月3日、伊万里小学校で開かれました。

子どもたちに将来の夢や希望などの意見を発表させ、誇りと責任を自覚してほしいという願いで開かれたものです。

聴衆も父兄など300人が集まり、子どもたちの意見を聞き、青少年の健全育成の必要さを痛感していました。入賞者は次のとおりです。

(敬称略)

▷個人 (小学校の部)

- 最優秀賞 山口博久 (松浦小6年)
- 優秀賞 中島知子 (二里小6年)
- 優良賞 堀田信一郎 (大川小6年)

(中学校の部)

- 最優秀賞 森戸芳子 (黒川中3年)



▷将来の夢を話しかける子ども<

優秀賞 成沢 寛 (伊万里中3年)

優良賞 一番ヶ瀬初音 (滝野中1年)

▷団体

最優秀賞 松浦町子どもクラブ

優秀賞 二里町子どもクラブ

優良賞 大川町子どもクラブ

なお、優良子どもクラブや育成委員など1団体と4人を表彰しました

窓口案内

高令者に最後のチャンス

昭和36年4月に国民年金制度ができました。このとき、高令者の任意加入制度(10年年金)がありました。これに加入しなかったかたは、その後加入したくても加入できません。しかし、加入の希望が多

⑥ 国民年金

く、国は5年年金制度をつくり、再加入の道を開くことにしています。

▷加入できるかた

明治39年4月2日から明治44年4月1日までに生まれたかた。職場の被雇者年金加入者・他の年金から、老令年金・退職年金・通算老令年金などをもらっているかたや資格のあるかたは加入できません。

▷加入期間

申し出は、昭和45年1月から6月まで、加入期間は、5年間です。

▷保険料と年金額

保険料は月額750円で5年間納めてください。65歳から年額3万円の年金がもらえます。

65歳をすぎても、保険料を納め終わらないかたは、納め終わってからもらうことになります。

体力づくりの努力実る

健康優良校に選ばれた大川内小

大川内小学校（古賀三香校長・生徒数350人）は、健康優良校県1位（大規模校・12学級以上）に選ばれ全国表彰を受けました。また、全日本学校体育研究会からは、体育優秀校として表彰されました。

同校は、昭和43・44年度の2年間市と県教育委員会から「体育研究」の指定を受け、子どもたちの体力づくりに努力してきました。

この児童は、体位が悪い・運動は好きだが器用さが無い・日常生活態度が消極的・運動不足が多かったそうです。学力や体力がなければ将来の成功はのぞめないため、子どもたちの運動能力を伸ばし、積極的な生活態度を身につけさせようというのが体育研究にとり組んだ動機です。

研究は、子どもの1日の運動量を1週間かかっての追跡調査・体育用具の整備から始めました。

体育用具の整備は、卒業生や町民の善意もありましたが、遊具のほとんどは、休み時間を利用した先生たちの労力奉仕でできています。

全国青年大会 優秀賞に2種目入賞

写真（宇曾さん）と日常生活用具（鶴田さん）

11月8日から11日まで東京で開かれた全国青年祭に出場した県代表のうち、市内から次のかたが入賞しました。（敬称略）

▷美術展（写真）

優秀賞 宇曾一彦（東山代町）

いま すてた

たばこの温度が700度

寝る前、出かける前に、もう一度火の元を確かめましょう。たばこの投げすてなどチャットした不注意が思わぬ火災を招きます。

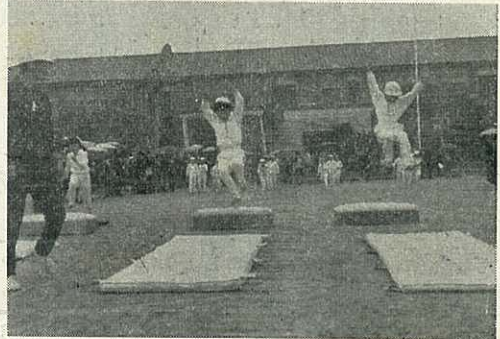
2年間の研究努力は、動作がきびきびとなった・運動場にある体育施設を利用する子どもが多くにぎやかになった・友好試合などで物おじしないようになるなど好結果をもたらしました。

10月19日の小学校陸上運動大会では「大川内小旋風」といわれるほど活躍できたのも努力のたまものといえます。

研究・努力の成果が健康優良校・体育優秀校として認められたこととなります。

古賀校長の話

地区住民の協力と職員の努力で、予想以上の効果をあげることができた。やる気さえあれば、なんでもできるということを職員だけでなく、子どもたちが理解したことが大きい。こんごは、この「やる気」を学習面にも活用したい。



▷研究成果を発表する児童◁

冬の青少年育成運動

12月16日～1月15日

12月16日から1月15日まで「冬の青少年育成強調運動」が行なわれます。年末年始の休暇中に、青少年が非行に走らないように見守り、心身ともに健全な青少年を育成するために行なわれるものです。

運動は、3つの目標をたてて成果

をあげることにしています。

○楽しい家庭にしよう

子どもの人格形成の基盤は家庭です。家族だんらんのを多くもち明るい楽しい家庭づくりに努めましょう。

○規則正しい生活をしよう

年末年始のあわただしさや休みのため日常生活が不規則になりがちです。生活の計画表を作ったり、家族ぐるみのレクリエーションなどで、規律正しい生活と健康増進をはかりましょう。

○非行や事故をなくそう

年末年始は、交通事故がふえます。また、非行に走りやすい時期でもあります。市民みんなで注意し、非行や事故を未然に防ぎましょう。

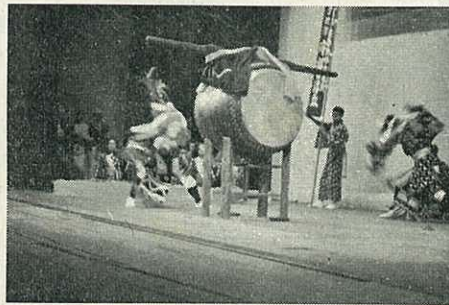
市は、この運動の一つとして、小中・高校の児童・生徒からポスター標語を募集しています。入賞作品は12月24日から1月15日まで伊万里玉屋に展示し、一般市民の関心を高めることにしています。

▷文化生活展（日常生活用具）

優秀賞 鶴田文江（大川町）

▷郷土芸能

努力賞 南波多町府招舞浮立



▷努力賞をうけた南波多町の舞浮立◁

北 欧 見 聞 記

幸善町の富田セイ子さん(22歳)は、青年海外派遣団員に選ばれ、8月30日から10月13日まで北ヨーロッパを視察しました。若い目が見た北欧の印象記を連載します。

全国から集まった11人と一っしょに北ヨーロッパを視察しました。訪ねた国は、ソ連・フィンランド・ノルウェー・スウェーデン・デンマーク・ポーランド・フランスです。わずか2か月たらず

の短い期間でしたが、その間のいろんな生活体験は、わたくしのしょうがいにも、大きな影響を及ぼすだろうと思います。

家族や友人に送られ、横浜港から出港したのが8月30日です。期待と不安をだきながら、だんだん小さくなっていく日本列島を感慨深く眺めたものです。

船酔いになやまされた2日間、やがて、かって日本人が開いたナホトカの町が見えてきました。ナホトカは、ソ連の海の玄関といわれています。しかし、町全体がガラーンとした感じです。上陸したとたん「ここでは、自動車は走っていないのだからか」と錯覚するほどでした。

① 横 浜 —— モ ス ク ワ

異国に眠っている同胞の供養をしたいたと袈裟や線香を用意した僧侶もいましたが、墓地を訪問する時間がなく、いまでもうしろ髪をひかれる思いです。

ハバロスクまでは、大陸横断列車で16時間もかかります。それでも、ソビエト横断の12分の1にもならないということですから大陸の広大さ

ぶぶん囲気がちがいます。

店は、一般に小さくて、買物客がひしめき合ったり、長蛇の列を作ったりしています。わたくしたちも、りんごを買うのに1時間10分も待たされました。店員は不愛想、でサービス過剰になれているわたくしたちにはもの足りない気さえします。

町では、道路工事などを行っている労働者を見かけましたが、いつ見ても数人のグループで道にすわり込み

ただ、ゆったりと毎日を送っているような印象を受けました。

モスクワに長く滞在し

ている日本人が「ソ連は、いろんな経済政策をとっているが、なかなか効果があがらない」と話していました。ここでも、日本経済の高度成長は、非常な注目を集めています。

共産国は、すべての人民が平等だと思っていました。しかし、これはわたくしの認識不足だったようです。

モスクワ大学は、金持ちでなければ入学できない事実・政府高官の車が信号無視で通過しても、警官は、それに敬礼するだけということからでも容易に理解できます。

雨が降った一日、新聞紙やビニールをかぶって歩いている姿が印象的なモスクワの町でした。

局の案内前に入れると無効になりますのでご注意ください。

りんごを買うのに70分

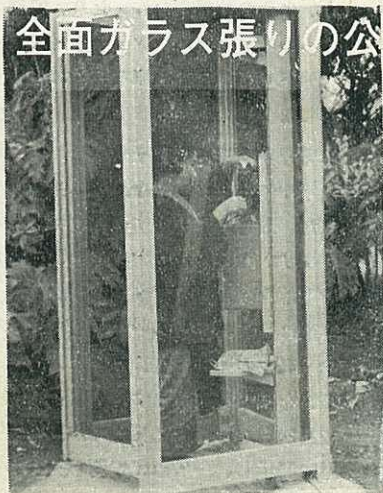
質素なソ連婦人

がわかるようです。

ここから飛行機でモスクワ入り、赤の広場・クレムリン宮殿・聖バシリ寺院などを見学しました。興味があったのは、バスの中から見るモスクワの人々の生活のようすでした

ソ連人は、しぶとくて、粘り強く大ざっぱな性格といわれていますが反面、とてもお人好しです。でも、バターのくさったような体臭には、パイカル号に乗り込んだときから、ずいぶん悩まされました。ソ連の中年婦人は、ほとんどがビヤだるのようなかただつきです。質素な黒っぽい上着とスカート・運動靴をはいて大きな手さげを持って歩いています。日本の団地婦人などは、だい

全面ガラス張りの公衆電話お目見え



▷久原駅前のガラス張り公衆電話◁

4面ガラス張りの公衆電話が松浦線久原駅にできました。

市内通話は、ハンドルをまわすと局がでます。相手の番号を言ってください。料金は10円ですが、局の案内にしたがって入れてください。

市外通話は、ハンドルをまわし、局がでると「市外」といい、市外受付係がでたら「久原局公衆1番から〇〇局〇〇番へ」とお申し込みください。

料金は、局の案内にしたがって、お入れください。

電話エチケット ⑤

電話で張り手をかまされる——あなたも経験がおありでしょう。電話をガチャンときられ、ユマクが破れそうになったことを……。

「終わりよければ、すべてよし」といいます。電話も終わりがかんじん。どんなに通話がていねいでも、受話器を乱暴においては、先方に不快感を与えます。受話器は静かにきちんとかけましょう。

新入児健康診断

来春、小学校へ入学する児童の健康診断と知能検査を行ないます。

転校・長期欠席・就学猶予や免除などの手続きでお困りのかたは教育委員会学校教育課にご相談ください。心身障害児は、それぞれ特性や能力に応じた教育が必要です。ご相談ください。

▶日時と場所

小学校名	12月	時 間
伊万里	12日	13.30~15.30
牧島	11	13.30~15.30
大坪	11	13.00~15.00
大川内	11	13.00~14.00
黒川	15	13.00~15.00
ク立目分	ク	ク
東黒川	19	13.00~14.00
波多津	10	13.00~15.00
波多津東	3	13.00~15.00
南波多	10	13.30~15.30
波多川	12	13.00~14.00
大川	12	13.30~15.30
松浦	9	13.30~15.30
二里	12	13.30~15.00
東山代	16	13.30~15.30
滝野	12	13.00~15.00
ク下分	ク	ク
ク日南郷	ク	ク
山代東	12	13.30~15.30
山代西	9	13.30~15.00

※ 会場は各小学校。立目分校は黒川小、下分と日南郷分校は滝野小

農 地 相 談

12月8・9日	9時~16時30分	大川出張所
12月9・10日	8時30分~17時	松浦出張所
12月10・11日	9時~16時30分	黒川出張所
12月12日	9時~16時30分	
ク13日	9時~12時	南波多出張所
12月13日	9時~12時	

12月15日 9時~16時30分
波多津出張所

年 賀 状 は 早 め に

年賀状は、12月22日ごろまでにお出しください。12月15日から取り扱いますので遠方あては早めにお出しください。伊万里市内あて県内あてとその他の地区にわけ、「当市内あて年賀」「自県内あて年賀」「年賀」と書いた紙をおもてにつけ、別々にひ

もてたばねてください。

小包は、12月15日までに出示しよう。15日すぎに出しますと年内に配達できないことがあります。

年賀状のあて名とあなたの住所にも郵便番号を書いてください。

——伊万里郵便局——



12人に1人のせまい門

市 職 員 採 用 試 験

市職員の第1次採用試験が11月16日、武雄高校で行なわれました。

採用見込者10人に対して、116人が受験、12月上旬に合格者を発表します。第2次試験は、12月下旬に行ない、最終合格者を決定する予定です。合格者は、任用候補者名簿にのせ職員の欠員ができれば、上位から

順次採用することになっています。

電 気 豆 知 識

電気器具の部品は

何年間メーカーが保有するか

ルームクーラーを買ったが、何年か先、故障したら部品はあるだろうか。ちょっと心配になります。しかし、メーカーが補修用の部品を保有しなければならぬ最低の期間が決まっています。期間は、その型の製造が打ちきられた時からです。

- ・冷蔵庫・ルームクーラー 8年
- ・テレビ・ステレオ・扇風機 7年
- ・洗たく機・電気釜・こたつ 5年



▷市文化祭=菊花展会場で<

市文化祭開く

第8回市文化祭は、11月3日から9日まで、6会場で開かれました。

菊・生花・らん・書道・写真・俳句・盤景など伊万里玉屋で展示したほか、郷土史料展・水石展・茶会・8ミリ映画会なども開かれました。

芸能発表会は、9日、伊万里中学校体育館で開かれ、1年間の練習の成果を発表しました。

烏ん枕を再刊

昭和37年から休刊していた「烏ん枕(からすんまくら)」が再刊になりました。こんど発刊したのは、第4号です。年3回発行することになっています。

また、郷土研究会が調査した「山の寺遺跡」もちかく発行します。

ご希望のかたには、実費でおわけします。国書館内市郷土研究会事務局へお申し込みください。

——市郷土研究会——

成人検診

- ▶対象者 40歳～64歳の希望者
- ▶検診内容 血圧測定・診察・検尿保健指導
- ▶日時と場所
 - 12月8日 南波多町重橋公民館
 - 〳 11日 波多津町内野公民館
 - 〳 12日 山代町桶久公民館
 - 〳 15日 松浦町上分公民館
 - 〳 17日 大川出張所(宿)
 - 〳 18日 二里町作井手公民館
 - 〳 19日 東山代町脇野公民館
 - 〳 22日 黒川町長尾公民館
- ※時間 13時30分～15時

住民結核健康診断 X線間接撮影

- ▶対象者 満15歳以上で、前回の診断を受けていないかた。
- ※つぎのかたは対象になりません。
 - ・高校生・大学生
 - ・官公署・会社・事務所・工場の従業員で結核健康診断をうけているかた
 - ・理美容・クリーニング・旅館・飲食店などの従業員
- ▶料金 無料
- ▶日時と場所 12月8日 南波多公民館

- 9日 大川中学校
- 10日 二里出張所
- 11日 松浦公民館

※時間 13時30分～15時
▶血圧測定も行ないます。

妊婦検診

- 12月9日 10時～12時 波多津 小島医院
- 12月9日 13時30分～15時 大川 山口医院
- 12月16日 13時30分～15時 南波多 小島医院

農林業センサスは2月1日調査にご協力を

世界農林業センサスは、昭和45年2月1日現在で行なわれます。この調査は、国際連合食糧農業機関が世界各国に呼びかけ、10年に1回実施する国際的な調査で、農林業の匡勢調査ともいわれています。

日本の農林業は、米の生産過剰をはじめ、農林業構造の近代化・農産物貿易の自由化など大きな問題をかかえています。これらの問題を解決するには、農林業の実態を知らなければなりません。

この調査結果はこんごの農林行政の推進のために活用されますので調査にご協力ください。

工業統計調査

通産省は、12月31日現在で工業統計調査を行ないます。調査員がお伺いします。ご協力ください。

製造業の事業所が対象になります

引揚者特別交付金の請求は45年3月31日まで

引揚者の特別交付金請求は、昭和45年3月31日までです。

請求できるかたは、外地に終戦まで1年以上生活し、戦後やむを得ない理由で引揚げたかた。または、引揚げる事ができないまま死亡したかたと引揚船上で死亡したかたの遺族です。

まだ請求のすんでいないかたは、早めに市福祉事務所まで手続きをすませてください。

次のかたからご寄付をい
ただきました。厚くお礼申
しあげます。(敬称略)

社会福祉事業費へ

▼香典返しを寄付

〇壱万円 木下大作(大坪町白野 亡母チエ)

〇参千円 泉輝義(相生町亡祖母綾部ワキ)

〇参千円 馬場善士(松浦町中ノ原 亡長男隆浩)

〇壱万円 古川薫(上土井町 亡妻イチ)

〇参万五千元 伊東辰見

〇壱万円 寄付

馬場繁(松浦町)

中通亡祖父次郎)

〇壱万円 山口惣市(大坪町六仙寺 亡妻ヒチ)

〇参千円 岸川喜美子(脇田町陣内 亡夫慶喜)

〇五千元 津上英男(瀬戸町早里 亡母フデ)

〇壱万円 遠藤敏男(大川町立川欽業所 亡父梅吉)

▼篤志寄付

〇参百元 匿名

教育振興奨励基金へ

▼香典返しを寄付

〇五千元 古川薫(上土井町 亡妻イチ)

〇壱万円 宝蔵寺伸義(大川内町吉田 亡母フミ)

〇壱万円 岩橋鉄次(松島町 亡母山中スエ)

〇貳万円 富永初市(大川内町小石原 亡父松蔵)

〇壱万円 丸田正文(柳井町 亡母朝子)

交通対策協議会へ

▼香典返しを寄付

〇貳万円 橋敬男(東山代町里 亡妻久美子)

〇壱万円 黒川富次(山代町桶久津亡二男鴨川勝敏)

(昭44・11・20現在)

図書寄贈

伊万里図書館へ

〇句集笹舟ほか一冊

千葉市検見川町一の六〇九



- 〇貳万円 富永初市(大川内町小石原 亡父松蔵)
- 〇壱万円 丸田正文(柳井町 亡母朝子)
- 〇五万円 小林マサ子(相生町 亡夫功)
- 〇壱万円 大串勝行(山代町浦之崎 亡父勝次)
- ▼篤志寄付
- 〇拾参万円 匿名
- 市庁舎建設基金へ
- ▼香典返しを寄付
- 〇壱万円 宝蔵寺伸義(大川内町吉田 亡母フミ)
- 〇壱万円 寄付
- 市民会館建設基金へ
- 〇八千元 川原鶴次(松島町)
- ▼篤志寄付
- 〇壱万円 丸田正文(柳井町 亡母朝子)
- ▼香典返しを寄付
- 〇壱万円 九田正文(柳井町 亡母朝子)
- 交通対策協議会へ
- ▼香典返しを寄付
- 〇貳万円 橋敬男(東山代町里 亡妻久美子)
- 〇壱万円 黒川富次(山代町桶久津亡二男鴨川勝敏)
- (昭44・11・20現在)
- 図書寄贈
- 伊万里図書館へ
- 〇句集笹舟ほか一冊
- 千葉市検見川町一の六〇九